

科目名	単位数	年次・コース	選択群	教科書・出版社名	副教材・出版社名
化学基礎	2	1年 情報ビジネス科 システム工学科	<b>必修</b>	改訂 新編化学基礎 (東京書籍)	

学習目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>物質の構造・反応などについて理解し、化学の学習内容が日常生活や社会と深く関わっていることを知り、身近な物質とその変化への関心を高める。</li> <li>化学の基本概念や原理・法則を具体的な物質の性質や反応と結び付けて理解する。</li> <li>物質に関する原理・法則の基礎を理解し、物質とその変化を微視的にとらえる見方や考え方を養う。</li> </ul>
主な学習内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>物質の分類や物質の構成とその結合について学習する。</li> <li>物質質量(mol)と化学反応式とその量的関係について学習する。</li> <li>酸と塩基および酸化還元反応について学習する。</li> </ul>
評価の観点・規準	<p>A「関心・意欲・態度」身の回りの化学に関する現象に関心を持ち、意欲的に探究しようとする態度があり、また、科学的な見方や考え方を身につけているかどうかの観点から評価する。</p> <p>B「思考・判断・表現」化学に関する現象の中に問題を見出し、科学的に考察し導き出した考えを的確に表現できるかどうかの観点から評価する。</p> <p>C「観察・実験の技能」観察・実験を通して、基本操作を習得するとともに、結果を記録・整理し、自然を科学的に探究する技能を身につけているかどうかの観点から評価する。</p> <p>D「知識・理解」化学に関する基本的な原理・法則を理解し知識を身につけているかどうかの観点から評価する。</p>
評価の方法	<p>A 授業への取り組みやレポートの内容で判断・評価する。</p> <p>B レポートの内容や定期考査で判断・評価する。</p> <p>C 実験中の器具等の操作や結果、およびレポートの内容で判断・評価する。</p> <p>D レポートの内容、定期考査、小テスト等で判断・評価する。</p> <p>以上、A～Dの観点で総合的に評価する。</p>

学期	内容
1 学期	<p>序編 化学と人間生活 化学が物質を対象とする科学であることを理解し、化学が人間生活に果たしている役割を学習する。</p> <p>第Ⅰ章 物質の構成 第Ⅰ章 物質の構成 ・第2節 物質と化学結合 粒子どうしの結びつき方について学習する。 期末考査</p>
2 学期	<p>第Ⅱ章 物質の変化 ・第1節 物質質量と化学反応式 粒子の量的な扱い方について学習する。 中間考査</p> <p>第Ⅱ章 物質の変化 ・第2節 酸と塩基とその反応 酸性や塩基性を示す物質の反応、量的関係について学習する。 期末考査</p>
3 学期	<p>第Ⅱ章 物質の変化 ・第3節 酸化還元反応 電子のやりとりを伴う反応について学習する。 学年末考査</p>

備考 ・ 講座の特色 ・ 履修条件 ・ 注意事項 等	
--	--